

秋 田 市 長
穂 積 志 様

要 望 書

平成 2 5 年 1 2 月 2 日

秋 田 商 工 会 議 所
会 頭 三 浦 廣 巳

平成25年度 秋田市への要望項目

1. コンパクトシティの実現と都市観光の推進

- (1) 第2期中心市街地活性化基本計画の策定に向けた構想づくりの推進……………2
- (2) 交流人口の増加に向けて観光の視点を取り入れたまちづくりの推進……………3
 - ①佐竹史料館の充実……………3
 - ②ねぶり流し館への大型バス駐車場の確保……………3
 - ③新屋・土崎両地区のまちづくり推進……………3
 - ④映画等ロケ誘致活動への支援……………4
 - ⑤秋田市商店街ソフト事業の拡充……………4
 - ⑥国際化にも対応した観光案内表示等の整備……………4
 - ⑦ICT利活用による観光案内機能の充実および住民サービスの提供……………4
 - ⑧食のイベントにおける臨時営業許可の弾力的な運用……………4
- (3) 大規模展示・コンベンション施設を備えた文化複合施設の建設……………5
- (4) IR法の区域指定へ向けた取り組みの推進……………6

2. 環日本海交流の推進

- (1) 秋田港の機能強化に向けた整備促進……………7
 - ①秋田港国際コンテナターミナルへのガントリークレーン増設……………7
 - ②秋田港と日沿道を結ぶ産業道路の実現……………7
 - ③秋田港国際コンテナターミナルの沖合延伸……………7
- (2) 日本海対岸地域（沿海地方・延辺州）との交流推進……………8

3. 競争力のある企業の育成と新産業の創出

- (1) 公正な競争環境を確保するための入札制度・発注要件の見直し……………9
 - ①最低制限価格制度及び低入札価格調査制度の改善……………9
 - ②実勢価格を反映する予定価格への見直し……………9
- (2) 秋田に活力を生む起業支援策の強化及びAターン居住の促進……………10
- (3) 円滑な事業承継対策への取り組みの推進……………11
- (4) 再生可能エネルギー関連事業の推進……………12
 - ①再生可能エネルギー関連分野への県内企業の参入促進……………12
 - ②秋田港周辺地への大型貸工場の設置……………12
- (5) 商工会議所事業補助金の同額補助……………13

1. コンパクトシティの実現と都市観光の推進

(1) 第2期中心市街地活性化基本計画の策定に向けた構想づくりの推進

中心市街地に集積された商業基盤や公共インフラ、歴史・文化等の資産を活かしたまちづくりを進め、賑わいを取り戻すことは、コンパクトシティの実現に向けた重要な課題である。

現在の中心市街地活性化基本計画（以下、「中活計画」）は、平成26年6月に終了するが、中心市街地活性化は「エリアなかいち」の開業でようやく緒に就いたばかりであり、次の指針となる計画策定が是非とも必要である。

については、商業者等の声も取り入れながら、第2期中心市街地活性化基本計画策定に向けた構想づくりに共同で取り組んでいただきたい。

併せて、この構想を踏まえ具体的な事業が固まった際には、速やかに第2期中活計画を策定していただきたい。

【中心市街地のまちづくりで想定する課題】

別紙図面のとおり

(2) 交流人口の増加に向けて観光の視点を取り入れたまちづくりの推進

当所では、秋田市、商店街、会員企業との連携のもと、秋田駅での歓迎民謡や、「秋田かやき」「秋田美人ご膳」「ご当地グルメフェスティバル」等、観光の魅力とおもてなしの向上に取り組んでいる。

観光客の誘客には官民一体の取り組みが不可欠であり、観光客にとっても魅力のあるまちづくりやイベントの実施に向け、以下の8点を推進していただきたい。

① 佐竹史料館の充実

「佐竹史料館」は展示スペースが狭く、所蔵する優良な史料の展示もままならない状況にある。中心市街地活性化基本計画のコンセプトである「城下町ルネッサンス」を体現し、秋田市の観光の看板となる施設として、佐竹史料館を整備していただきたい。なお、施設の整備にあたっては、近隣の県立美術館の活用も含め、観光客の動線を考慮した場所への整備を検討していただきたい。

② ねぶり流し館への大型バス駐車場の確保

大型バス利用の観光客に対応するには、駐車場の狭さが課題となっていることから、近隣等への大型バス駐車場の確保や、一般利用者が近隣駐車場を利用した際に無料駐車券を配布するなど、利便性の向上を図っていただきたい。

③ 新屋・土崎両地区のまちづくり推進

新屋地区の「あらやまちづくり懇談会」が要望している美大を活かしたまちづくり、土崎地区の「土崎歴史資料館建設促進期成同盟会」が要望している歴史資料館建設は、地元が積極的に関わる地域の中核的なまちづくりであり、今年度市が行う調査を踏まえ、26年度は基本設計へ向けた予算を計上するなど、その実現を強く推進していただきたい。

④ 映画等ロケ誘致活動への支援

秋田オールロケの映画「遠くでずっとそばにいる」のロケ撮影の経験から、官民協働の支援組織が非常に有効であったことから、今後とも、官民一体の活動に対して支援していただきたい。また、誘致活動には映画業界との関係維持が不可欠であるため、業界関係者との継続的なイベント（映画祭等）を連携して開催するなど、新たなロケ誘致に向けた取り組みを支援していただきたい。

⑤ 秋田市商店街ソフト事業の拡充

商店街ソフト事業は、最近では、近隣の複数の商店街や他地域と連携したイベントが行われるなど、多様化している。昨年度の国の補正予算による「地域商店街活性化事業」では、地域の特性を活かした新たな取組みが各商店街で展開されたが、高齢化や人口減少に対応した商店街づくりなどの事業に対しても、新たに特別枠を設定するなどの支援をしていただきたい。

⑥ 国際化にも対応した観光案内表示等の整備

秋田市内の観光施設等への誘導標識や看板が少ないほか、国際化に対応した外国語表示も少なく、観光客が気軽にまち歩きを楽しめる環境が整っていない。関係機関と調整を図り、観光スポットへの案内表示を整備していただきたい。併せて、外国人旅行者に対応した観光マップやパンフレットも充実していただきたい。

⑦ ICT利活用による観光案内機能の充実および住民サービスの提供

県外・海外から秋田市を訪れる観光客へのおもてなし向上のため、超高速ブロードバンド環境とICTを活用し、市内の各観光施設等へのデジタルサイネージ設置など観光案内機能の充実を図っていただきたい。

また、観光にとどまらず、ICT利活用による防災情報の伝達や教育・福祉等の幅広い住民サービスを全市民に提供できるよう、未提供エリアの整備を含む全市での超高速ブロードバンド環境の整備を促進していただきたい。

⑧ 食のイベントにおける臨時営業許可の弾力的な運用

秋田の食の魅力をPRするイベントが様々な実施主体により開催されているが、現在の臨時営業許可申請では、イベントが連続する時期に、申請者が同じ場所で同じ商品を連続した日に販売しても、イベントの主催者が異なれば別途申請する必要があり、申請者にとっては負担が大きいため、弾力的に制度を運用していただきたい。

(3) 大規模展示・コンベンション施設を備えた文化複合施設の建設

本県には、全国規模あるいは国際的な展示会を開催できる大規模展示施設が無い
ため、屋内で開催される大規模な展示会や大会・イベントを誘致する
ことが難しく、催事開催による地域経済への波及効果を逃してきた。

このため、老朽化した県民会館、文化会館に代わる新たな施設の整備にあ
たっては、県民会館、市文化会館大ホールを拡充した収容人員 2 千人以上の
大ホール施設のほか、大規模展示場を含むコンベンション施設を併せ持つ施
設の整備を検討していただきたい。

立地条件等により、大規模展示施設の併設が不可能な場合は、分散立地の
可能性について検討していただきたい。

(4) IR法の区域指定へ向けた取り組みの推進

IR（特定複合観光施設）は、交流人口の増加や雇用創出、税収の増加など、地域の課題を解決する手段として期待されており、当所では、昨年の県民意識調査の結果をふまえ、秋田版IRの基本構想（青写真）の策定を進めている。

今後、成立が見込まれるIR法の区域指定を受けるためには、自治体が名乗りを上げることが必要であり、秋田市において区域指定に向けた態勢を整備し、IR誘致の検討を進めていただきたい。

2. 環日本海交流の推進

(1) 秋田港の機能強化に向けた整備促進

秋田港は、国際コンテナ取扱量の増加に対応するため、国際コンテナターミナルの拡張等が行われておりますが、日本海側の拠点港湾に相応しい発展を遂げるためには、更なる港湾機能の整備が必要である。

このため、秋田港国際コンテナターミナル 2 期工事計画の着実な実施を県に対し強く働きかけていただきたい。

さらに、以下の港湾予算の総額確保および以下の 3 点について、秋田港の港湾管理者である県及び国に対し、その実現方を強く働きかけていただきたい。

① 秋田港国際コンテナターミナルへのガントリークレーン増設

秋田港の外港地区には現在ガントリークレーンが 2 基あるものの、国際コンテナターミナル内には 1 基しかなく、他の岸壁にある 1 基は、バルク貨物荷役と重複し利用時間が限られるなど、バックアップができない状態であることから、実質、年間取扱量 65,000TEU ものコンテナを 1 基だけで荷捌きしている状況にある。このため、国際コンテナターミナルとしての荷役における効率化とバックアップ体制の確立に向けた、国際コンテナターミナル内への新たなガントリークレーンの設置について、26 年度予算に計上するよう、県に対し働きかけていただきたい。

② 秋田港と日沿道を結ぶ産業道路の実現

現在整備中の下新城東西線の延長線上に、国道 7 号と JR を跨線橋で渡り秋田北インターと最短で結ぶ自動車専用道路ルートを新設し、秋田港と日沿道を結ぶ産業道路を実現させていただきたい。このためルート全体を次期港湾計画において「港湾道路」として位置付け、26 年度予算に必要な調査費を計上し、国の支援も得て速やかに実現させるよう県に働きかけていただきたい。

③ 秋田港国際コンテナターミナルの沖合延伸

秋田港の国際コンテナターミナルの岸壁は、2 船同時に入港して荷捌きできる長さがなく、沖合での船待ち解消や天候不良による入港の重複に対応できる環境にない。また、ガントリークレーン 2 基でより効率的な荷捌きをするためには、国際コンテナターミナルを更に沖合へと延伸することが効果的であることから、県に対し次期港湾計画に沖合延伸を位置付けるよう働きかけていただきたい。

(2) 日本海対岸地域（沿海地方・延辺州）との交流推進

当所では昨年、沿海地方商工会議所および中国国際貿易促進委員会延辺支会と協定を締結し、代表団の相互の派遣等を通じ、両地域との経済交流を推進している。

来年度は、沿海地方商工会議所・国貿促延辺支会・当所の三者による国際会議を秋田市で開催する予定であり、延辺州とのチャーター便の就航も検討している。

秋田市においては、こうした日本海対岸地域との交流を推進し、地域経済の活性化を図る事業に対して支援していただきたい。

3. 競争力のある企業の育成と新産業の創出

(1) 公正な競争環境を確保するための入札制度・発注要件の見直し

公共工事の発注価格が下落し、採算が合わない状況となっており、地元建設業の経営を圧迫している。

公正な競争環境を確保するため、以下の2点について改善を図っていただきたい。

① 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度の改善

最低制限価格の引き上げ及び低入札調査基準価格の引き上げ並びに失格判断基準の見直しについては、現在でも東北地方の県庁所在地と比較して低い設定価格の状況にあることから、秋田市公契約基本条例の趣旨に則った改善を検討していただきたい。

② 実勢価格を反映する予定価格への見直し

秋田市では工事費を積算するため、秋田県の標準単価表や国土交通省の指導書を参考とし予定価格を出しているが、実態にそぐわないため、メーカーや商社から見積書を取得するなど、実勢価格を反映する積算方法への見直しを検討していただきたい。

また、職人に高齢者の占める割合が高くなっており、以前のように仕事はかどらず、労務費も掛かり増しとなっていることから、職人に関する労務歩掛の見直しを検討していただきたい。

(2) 秋田に活力を生む起業支援策の強化及びAターン居住の促進

当所では、「あきた起業塾」の開催や専門家による相談対応により、起業準備段階から起業後のフォローアップまで、起業者に対する一貫した支援を行っている。

今後、秋田市内での起業がより活発化するためには、資金面等での課題を抱える起業者への支援を強化する必要がある。また、全国から意欲ある起業者を呼び込み、雇用創出につながるAターン対策についても積極的に取り組む必要がある。

こうしたことから、起業支援とAターン促進を重点課題として下記の施策を推進していただきたい。

- 起業塾修了者に対する秋田市創業資金の金利優遇措置
- 新規開業者に対する中心市街地商業集積促進補助制度の改装費補助を含む拡充
- 秋田市広報を通じた起業者の情報発信
- Aターン希望者へのワンストップ相談窓口の設置
- 秋田市への移住・起業メリットの情報発信

(3) 円滑な事業承継対策への取り組みの推進

経営者の高齢化が進む中、事業存続による雇用の維持、経営者の若返りによる企業活性化が課題となっている。

当所では、「事業引き継ぎ相談窓口」を開設するほか、青年部活動や経営セミナーの開催等を通じ後継者育成を支援している。

国・県では事業承継対策の拡充が検討されており、秋田市においても、関係機関と連携し、市内企業の事業承継を支援していただきたい。

(4) 再生可能エネルギー関連事業の推進

本県の立地特性を活かして集積が進んでいる、風力発電、メガソーラー、地熱発電等の再生可能エネルギー産業は、設備の設置から保守管理、発電、送電等裾野が広く、長期的に取り組んでいく必要がある。

このため、地元企業の受注拡大や雇用の創出など、地域への経済効果が十分に波及するよう、以下の2点について国・県と連携して推進していただきたい。

①再生可能エネルギー関連分野への県内企業の参入促進

県では、本県を再生可能エネルギーの先進県とするため、同分野に参入するための支援措置を拡充している。こうした支援措置を活用して、公有地等を活用した再生可能エネルギー事業に県内企業の参画する事業者が積極的に参入できるよう、県に対し公募条件や評価項目への配慮について働きかけていただきたい。

併せて、再生可能エネルギー事業者の公募に当たっては「緊急時の迅速な対応」を義務付けるなど、再生可能エネルギーに関するメンテナンス事業に県内事業者が参入できるよう、県に対し働きかけていただきたい。

②秋田港周辺地への大型貸工場の設置

県では、秋田市から潟上市にかけての県有保安林等、約630haにおいて風力発電事業者を公募する予定で、また、秋田港周辺では将来の洋上風力発電の導入へ向け、港湾計画の改訂作業や研究会活動が行われている。

こうした風力発電施設に代表される大型構造物の輸送・組み立て及びメンテナンス部品を保管するためには、広い敷地と大型クレーンを備えた大型工場が必要であり、構造物の運搬に海上輸送が適していることから港の近くへの立地が望まれる。

については、風力発電施設などの大型構造物に関する産業の誘致を促進するため、是非とも秋田港周辺地への大型貸工場の設置へ向け県と協議のうえ、実現に向けて特段のご配慮を賜りたい。

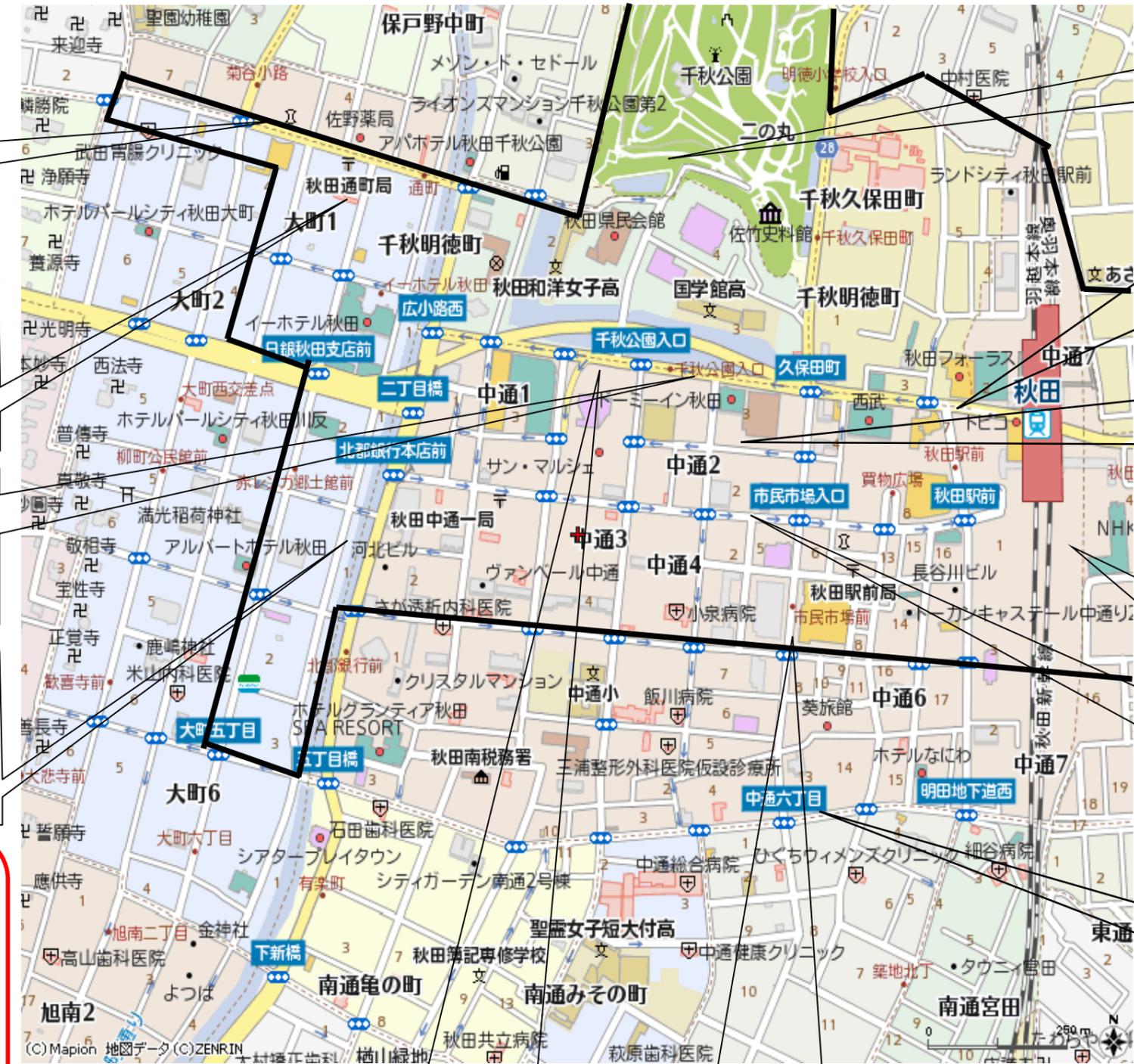
(5) 商工会議所事業補助金の同額補助

当所は、地域の総合経済団体として、市内企業の経営の安定と競争力の強化、さらには起業者の育成に向けた支援・相談対応を担っている。

消費税増税、貿易の自由化など、経済環境の変化に対応し、産業の発展と雇用の確保を図るため、企業に対する支援を継続してまいりますので、今年度と同額の事業費補助金を確保していただきたい。

秋田市中心市街地商店街及び施設等で実施のイベント事業（ソフト面）

H25. 11. 29 現在



秋田市通町商店街（振）

- ・通の市（H25. 4～H25. 10：毎月第4土）
- ・通町商店街キツネプロジェクト（H25. 6. 22～H25. 7. 27）
ーキツネのスタンプラリー
ー来来（コンコン）祭り 2013
- ・通町草市（H25. 8. 12）
- ・商店街スゴロク

大町商店街（振）

- ・トワイライトリレーコンサート（H25. 6. 15～H25. 9. 14：毎週土曜日）
- ・大町まつり（H25. 6. 22～23）
- ・ヤートセ秋田祭り（H25. 6. 22～23）
- ・大町タイムマシンプロジェクト（H25. 9. 21～H25. 9. 28）

秋田広小路商店街（振）

- ・広小路クリスマスイルミネーション設置事業（H25. 11. 20～H26. 2. 15）
- ・イルミネーションの設置（H25）

川反外町振興会

- ・川反サンバカーニバル（H25. 9. 21）
- ・ウェルカム川反にぎわい夜祭り（H25. 10. 12）
- ・川反ドリンクラリー

秋田商工会議所関連イベント

- ・ご当地グルメフェスティバル（大町ニューシティー跡地 H25. 8. 3～8. 6）
- ・アニメ×アイドルフェスティバル in AKITA（エリアなかいちにぎわい広場、アルヴェ H25. 9. 14）
- ・秋田かやき四天王決定戦（エリアなかいちにぎわい広場 H25. 10. 20）
- ・あきたまちグルートの発行（H25. 9）
- ・ワンコインスタンプラリー（H25. 9. 14～10. 14）

全体

- ・中心市街地循環バスの運行「ぐるる」（通年）
- ・Akita Music Festival（H25. 10. 5～6）
- ・オープンカフェ事業 ・臨時駐輪場設置促進事業
- ・秋田竿燈まつり
- ・中活計画区域の見直し

千秋公園

- ・千秋公園桜まつり（H. 25. 4. 19～30）
- ・" つつじまつり（H. 25. 5. 18～6. 2）

秋田駅前広小路商店街（振）

- ・ふるさと駅前カーニバル&AKITAエキマエキャンドルアート（H25. 7. 26～7. 28）
- ・AKITAエキマエ光のテラス 2013（H25. 12. 1～H26. 1. 31）

仲小路振興会

- ・仲小路仲の日（毎月15日前後開催）
- ・第10回ハロウィンマンスイン仲小路（H25. 10. 5～H25. 11. 16）
- ・仲小路回遊マップ

秋田拠点センターアルヴェ

- ・アルヴェサマフェスタ（H25. 7. 13～16）
- ・アルヴェクリスマスフェスタ（H25. 12. 21～24）

中央通り地区

- ・たまご遊園地夏祭り（H25. 8. 17）

秋田市南通り商店街（振）

- ・南通街区親子ふれあい夏祭り（H25. 8. 17）※中心市街地外

エリアなかいち

- ・ナカイチ祭り 2013（エリアなかいち1周年記念）（H25. 7. 6～21【毎週土日】）
- ・第29回国民文化祭イベント（H25. 9. 14～15）
- ・秋田食と祭りの大博覧会（H25. 10. 19～20）
- ・新県立美術館グランドオープン（H25. 9. 28）
- ・なかいちウィンターパーク（冬）（H25. 11. 23～H26. 2. 28）

秋田市民市場

- ・日替わり特売デー（火～土曜日）
- ・ふれあいサタデー（毎月最終土曜日）
- ・歳末市場大感謝祭（H25. 12月）
- ・秋田市民市場味覚フェスティバル

<組織づくり>

- ・中央街区3商店街の組織化（現：連絡協議会）
- ・中央通商店街の組織化

※記載は秋田市中心市街地活性化基本計画、商工会議所、商店街等で実施のソフト事業
 ※うち、網掛け部分は、現秋田市中心市街地活性化基本計画事業
 ※ 秋田市中心市街地活性化基本計画区域

秋田市中心市街地におけるまちづくりの課題（ハード面）

H25. 11. 29 現在

広小路地区

- ・アートの回廊事業（アーケード支柱を活用した街路灯整備 LED スポットライト事業【H25】）
- ・歩道の融雪化（H26：東北電力前 H27）
- ・地下電線共同溝整備（東北電力前 H26）

大町地区

- ・大町ニューシティ跡地活用
- ・旧秋田魁新報社跡地の活用（大町コミュニティ施設の整備）
- ・イーホテルショッピングモールの活用

川反地区

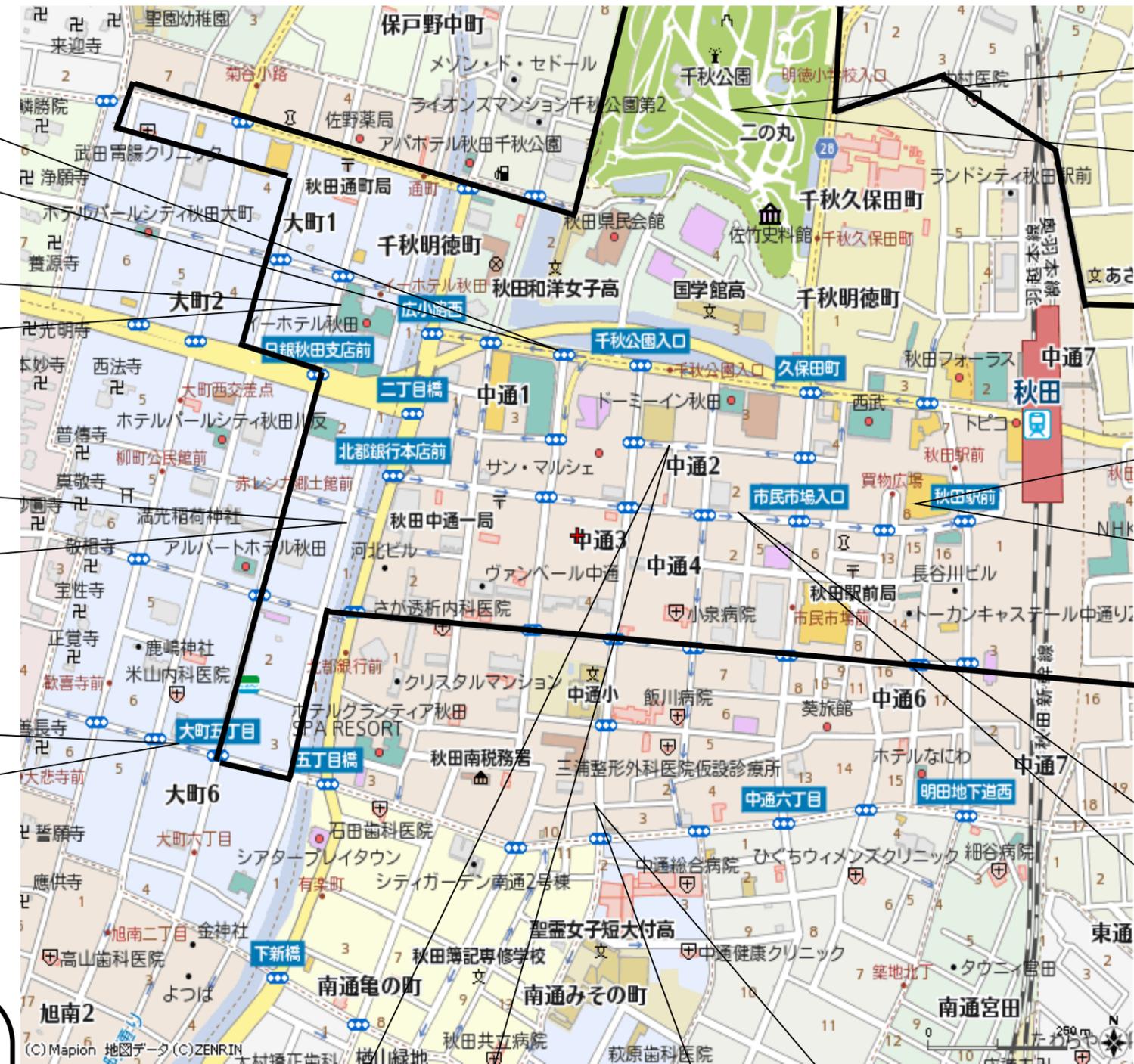
- ・中央街区と川反飲食街を結ぶスクランブル交差点、もしくは地下道等の設置
- ・川反通り電線の地中化
- ・川反通り歩道の融雪化および道路整備
- ・川反案内誘導表示の設置

横町地区

- ・川尻広面線横町工区拡幅工事（H26 着工予定）
 - ・道路拡張によるまちづくり整備
- ※中心市街地外

全 体

- ・大型文化施設構想（日銀移転等含む）
- ・イベント広場の全天候型対策（アゴラ広場・にぎわい広場）
- ・中央街区一方通行解除
- ・中心市街地循環バス「ぐるる」の継続運行および商店街と連携した活用等検討
- ・中活計画区域の見直し



千秋公園地区周辺

- ・佐竹史料館の充実（改修 or 移転）
- ・現県立美術館移転後の活用策
- ・料亭松下跡地の活用
- ・千秋広面線の手形陸橋～久保田町交差点の4車線化
- ・中土橋通りへの給排水設備の設置（イベント用）
- ・千秋公園整備事業二の丸広場

秋田駅前地区

- ・千秋久保田町線（H28 年度中に整備完了、H29 年度中供用開始予定）
- ・フォーラスの老朽化への対応
- ・秋田駅周辺平面無料駐輪場の設置
- ・秋田駅周辺駐輪規制の緩和
- ・旧ホテルハワイ駅前店の活用（社会福祉法人買収）
- ・秋田駅西北地区土地区画整理事業
- ・秋田駅前北第一地区市街地再開発事業

仲小路地区

- ・アーケードの設置
- ・仲小路通りの歩行者天国化
- ・産業会館跡地の活用
- ・仲小路西側街路灯および歩道の整備
- ・秋田駅～エリアなかいかいまでの誘導看板の設置

南通・有楽町地区

- ・映画館跡地の活用
- ・南通と牛島を結ぶ「秋田環状線」の中通6丁目交差点～秋田南中前の区間整備※中心市街地外

中央通り地区

- ・農林中央金庫跡地の活用
- ・※結婚式場建設（H26. 1 月オープン予定）
- ・歩道消融雪設備事業（中通本線）（H25 完了予定）

※課題や当所を通じての地元要望事項等を記載
 ※網掛け部分は、現秋田市中心市街地活性化基本計画事業
 ※ 秋田市中心市街地活性化基本計画区域
 ※ 現在事業実施中